

## コンピュータチェック事例コード

48SJ100113013 その他 9事例グループ化

## コンピュータチェック内容

特定疾患に該当しない疾患に対して医薬品が28日以上処方され、特定疾患処方管理加算（処方料）又は特定疾患処方管理加算（処方箋料）が算定された場合にチェックを実施。

## コンピュータチェック根拠

診療所又は許可病床数が200床未満の病院である保険医療機関において、入院中の患者以外の患者（別に厚生労働大臣が定める疾患を主病とするものに限る。）に対して薬剤の処方期間が28日以上の上の処方を行った場合は、特定疾患処方管理加算として、月1回に限り、1処方につき所定点数に加算するとされています。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)のうち、いずれかを算定している  
目視対象レセプト1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

### 2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が  
査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

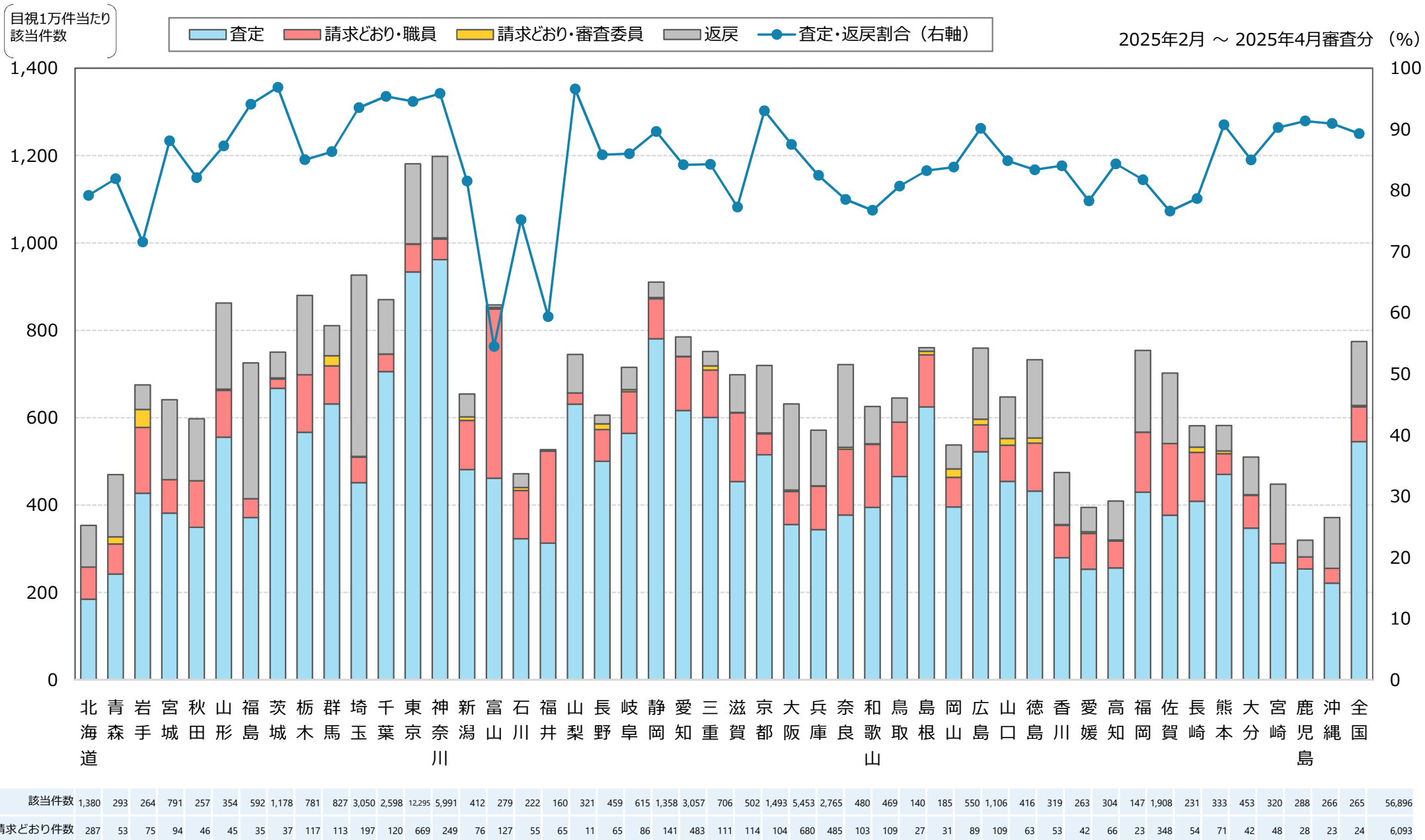
➤ 全国の査定・返戻割合 89.29%

➤ 検証対象都道府県 44

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	富山、福井、岩手、石川、佐賀、和歌山、滋賀、愛媛、奈良、長崎、北海道、鳥取、新潟、福岡、青森、秋田	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	富山、福井、佐賀、滋賀、岩手、奈良、和歌山、福岡、栃木、鳥取、愛知、島根、新潟、長崎、石川、徳島	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岩手、群馬、岡山、青森、山口、長野、広島、長崎、徳島、三重、島根、新潟、熊本、石川、岐阜、奈良	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	56,896件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	50,803件
検証を必要とする審査	請求どおり	6,093件



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数